



ひよつごの「農」発行

本年度の県重要施策など

兵庫 県

県はこのほど、本年度の農業施策の展開方向や重要施策を取りまとめたひよつごの「農」2019を発行した。

「ひよつご」農林水産ビジョン2025」に基づく6つの基本方向(①需要に応える農業の競争力強化と持続的発展、②木材の有効利用と森林の保全・再生、③豊かな海の再生と水産業・浜の活性化、④新たな価値創出による需要の開拓、⑤活力ある農村(むら)づくりの推進、⑥食と「農」に親しむ楽農生活の推進)に基づき、本年度の重要施策を紹介している。

「需要に応える農業の競争力強化と持続的発展」では、消費者・実需者の多様なニーズに対応し、都市近郊の立地やひよつご五国の地域特性を活かし、園芸作物や但馬牛など農畜産物の生産拡大を図

発行所

一般社団法人 兵庫県農業会議 神戸市中央区下山手通4丁目15-3 兵庫県農業共済会館内

主な内容

- ◇都市農地貸借円滑化法 30年度の実績
◇県農業法人協会 総会・経営セミナー開催
◇農業委員会職員異動
◇淡路市農委 全国農業新聞普及部数全国2位

農委の体制整備と活動強化

30年度の取り組み状況 活動記録 1人17・4件

る。また、新規就農者の確保・育成や集落営農組織等の法人化により効率的かつ安定的な農業経営を行う多様な担い手の確保を進める。
「新たな価値創出による需要の開拓」では、商品価値の高い農林水産物等の生産、輸出の促進などにより国内需要の拡大や海外市場の開拓を推進。生産者と消費者が農林水

産業・農山漁村をともに支える県産県消を推進する。
「活力ある農村(むら)づくりの推進」では、持続的な営農に加え、地域の共同活動、野生動物の被害対策などの取り組みを通じて、農業・農村の多面的機能の維持・發揮を図る。
「食と「農」に親しむ楽農生活の推進」では、市民農園の利用や二地域居住の促進などにより、県民誰もが「農」に親しみ、ゆとりとやすらぎが実感できるライフスタイル「楽農生活」の実現を目指すとしている。

県農業会議はこのほど、農業委員会の体制整備と活動強化について、平成30年度の取り組み状況を取りまとめた。
農業委員・農地利用最適化推進委員の任期にあわせた3ヶ年活動計画は7市町の農業委員会が策定。地域農業者の意向把握や意見集約のための意見交換会の開催は8委員会だった。「人・農地プラン」策定への参画では、同プラン

農地転用事務取扱要領を改正

県農業会議

を考慮する旨を追加

◇農業委員会への事務依頼
①事前連絡・添付書類

ア 県農業会議の農地委員会開催日の15日前(土日祝日除く)までに提出する事前連絡書に、案件に係る許可申請書及び位置

図、見取図、事業計画図等の添付
イ 農地区分の判定に必要な図面の添付を依頼

② 農業委員会と農林(水産)振興事務所との協議

県農業会議に意見照会する案件について、農業委員会は総会開催日までに、農林(水産)振興事務所との事前協議を行うこと(転用許可権限の移譲を受けた市町を除く)。

全国農業新聞・4月増部

全国農業新聞の普及について、4月に増部したのは3市町。( )内は増加部数。①丹波篠山市(47)、②加東市(2)、③南あわじ市(1)

の「策定あり」と回答した34委員会のうち28委員会がプラン審査会や検討会、集落説明会、合意形成活動に参画した。

地域の世話役活動を記録カードに取りまとめ、提出した農業委員・推進委員は932人、カードの提出件数は、前年度に比べ54・5%増の1万6211件であり、委員1人当たり平均提出件数は17・4件だった。最も提出件数が多かったのは加古川市の1926件、次いで、姫路市1181件、丹波市976件、宍粟市933件、丹波篠山市849件。提出委員1人当たりでは、加古川市52・1件が最も多く、次いで、稲美町45・3件、姫路市29・5件、宍粟市27・4件、川西市25・1件と続く。

広報活動の実施状況は、市町広報を活用したものと、「農業委員会だより」等独自紙を発行したものを合わせると、26市町農業委員会だった。

# 農業委員会職員異動

(敬称略)

主査・伊藤真一▽主事・大西末紗(転出) 蔵本栄伸  
 《姫路市農業委員会》  
 課長補佐・雲丹亀良彦▽主任・前川美耶子▽主事・西谷智栄(転出) 福永篤史▽西川光▽細川智美  
 《市川町農業委員会》  
 主査・高橋惇貴(転出) 高橋敏樹  
 《福崎町農業委員会》  
 主査・木村直子(転出) 高馬明弘  
 《相生市農業委員会》  
 職員・室井良太(転出) 坂本隼人  
 《たつの市農業委員会》  
 事務局長・土井富生▽臨時職員・小河律代(転出) 藤本茂喜▽藤本あかね  
 《赤穂市農業委員会》  
 事務局長・一二三修司▽主査・桃井次郎(転出) 高砂賢一(退職) 柳生隆弘  
 《宍粟市農業委員会》  
 係長・藤原礼子(転出) 柴原真理  
 《太子町農業委員会》  
 主査・竹田晃大(転出) 室井良友  
 《佐用町農業委員会》  
 書記・金城皆美(転出) 木南智

《豊岡市農業委員会》  
 次長・上阪善晴(転出) 橋本明宏  
 《新温泉町農業委員会》  
 係長・川崎晴人(転出) 村尾雄一郎  
 《朝来市農業委員会》  
 事務局長・石橋禎之▽事務局長次長・藤原雅人▽事務局長補佐・小笠原徹(退職) 藤原裕明▽田中達人  
 《養父市農業委員会》  
 事務局長・圓山修一▽職員・稲津義彦(転出) 岡和昭▽中野崇志  
 《篠山市農業委員会》  
 係長・中村直美▽主事・中村絃子(転出) 宇杉裕子▽酒井克美  
 《丹波市農業委員会》  
 事務局長・足立幸二▽農地・農政係長・蘆田貴彦▽非常勤一般職員・余田瑞貴(退職) 北山浩三▽中野紗矢香  
 《洲本市農業委員会》  
 事務局長・山下直樹▽事務局長次長・國芳俊宏(退職) 西村規章▽継木康博  
 《淡路市農業委員会》  
 事務局長・田中代治(転出) 笹田幸由

《神戸市農業委員会》  
 職員・岡田勝正▽職員・竹内智子▽職員・飯田正範  
 (転出) 田中良宏▽林佳恵  
 《尼崎市農業委員会》  
 係長・宇野克則(転出) 新内光昭  
 《西宮市農業委員会》  
 係長・神田武史▽主査・松谷拓人(転出) 東孝二▽北裕子  
 《伊丹市農業委員会》  
 主査・梶谷和弘(転出) 吉田尚  
 《宝塚市農業委員会》  
 事務職員・東久保美圭(転出) 鈴木恒▽田中美帆  
 《三田市農業委員会》  
 事務局長・仲隆司▽事務職員・野口勇人(転出) 本田嘉昭▽児玉康之  
 《猪名川町農業委員会》  
 事務局長・橋本佳之  
 《加古川市農業委員会》  
 事務局長・稗田清人▽主事・野々内慎平▽嘱託員・井澤美江子(転出) 吉田和枝

(退職) 大西崇文▽坪田裕貴  
 《高砂市農業委員会》  
 事務局長・大内喜樹(転出) 神吉秀明(退職) 新谷康祐  
 《稲美町農業委員会》  
 農地農政係長・中川剛(転出) 松島理絵  
 《播磨町農業委員会》  
 事務局職員・高森菜奈未  
 《西脇市農業委員会》  
 再任用職員・山本昇司(転出) 藤原大作  
 《三木市農業委員会》  
 事務局次長・平田和也(退職) 土田俊之  
 《小野市農業委員会》  
 主務・高橋言(転出) 河嶋雅浩  
 《加西市農業委員会》  
 事務局次長・高倉慧喜(転出) 亀田哲馬  
 《加東市農業委員会》  
 事務局次長・藤本弘子▽主事・西角洋人(転出) 土肥彰浩▽稲山浩平  
 《多可町農業委員会》

《新田町農業委員会》  
 係長・梅本昭夫▽会長職務代理者・福田正人  
 《上郡町》  
 会長・梅本昭夫▽会長職務代理者・武田弘明  
 《洲本市》  
 会長・齋藤文拓▽会長職務代理者・相曾高博

## 農業委員会

### 新役員(敬称略)

《猪名川町》  
 会長職務代理者・仲井常雄  
 《稲美町》  
 会長職務代理者・福田正人  
 《上郡町》  
 会長・梅本昭夫▽会長職務代理者・武田弘明  
 《洲本市》  
 会長・齋藤文拓▽会長職務代理者・相曾高博

## 全国農業図書新刊紹介

【2019年度 日本農業技術検定 過去問題集3級・2級】(31-01-31-02)、A5版・104頁・56頁、各1080円  
 【農業者の老後に安心を農業者年金制度と加入推進2019年度版】(31-04)、A4版・71頁、500円

